ゴボウ君と大根君

村山籌子

青空文庫

大根とごぼうが　一しよに暮してゐました。

或日、大根の所へ　手紙が参りました。その時、大根は用事があつて外出してゐましたので　ごぼうが代りに受け取りました。ごぼうは、なかに、どんな事が書いてあるか　知りたくてたまりませんでした。けれども、いくらごぼうでも、「ひとに来た手紙を、ことわりなく勝手に開ける事はよくない事である。」といふ位のことはよく知つてゐます。ごぼうは手紙を大根の机の上に置いて、大根の帰つて来るのを待つ事にしました。

ところが、どうしたものか、大根は仲々帰つて来ないのです。で、ごぼうは、辛抱しきれなくなつて、手紙の封をピリピリと引きさいて、そつとひろげて見ると、こんな事が書いてありました。

「大根君、うわさによると、君は、大根のくせに、ごぼうと一緒に住んでゐるさうぢやないか。僕などは　あのうすぎたない茶色の、毛だらけの、顔を見た丈で、気持が悪くなるよ。すぐに、こつちへ来て、僕たちと一緒に暮し給へ。白井大根」これを読んだ時のごぼうの気持はどうだつたでせう。ごぼうはワアワアと　机にもたれて一時間以上も泣きました。何故といつて、手紙に書いてあつた事は　全くほんとの事だつたからです。

泣く丈け泣いたごぼうは、鏡の前に行つて、カミソリで、毛をすりおとさうとしましたが、かたくてとれません。それからお風呂にはいつて、皮のむける程　石けんでごし〳〵と身体中を　こすりまわしました。茶色の身体は　仲々白くなりません。たうたう　ごぼうは　風邪を引きました。

「ハクシヨン、ハクシヨン、ハクシヨン、ハクシヨン、ハクシヨン、ハクシヨン」クシヤミは　とまりません。

その時、やつとの事で家に帰つて来た大根は、ごぼうが風呂場で立てつづけに　クシヤミをしてゐるのを見て、びつくりしました。

「おい、ごぼう君、どうしたのさ。」

「すまないことをしたんだよ、大根君、実は君に来た手紙をハクシヨン、ハクシヨン、ハクシヨン、ハクシヨン。」

「ごぼう君、どうしたんだよ。早く言ひ給へ、僕は、あんまり歩いたので、もう眠くて眠くて　たまらないんだからね。」

「ぢや言ふよ。ハクシヨン。」言ひかけて、恥しくなつたごぼうは　大根の耳の所へ　口を持つて行つて、

「実はね、君、ハクシヨーン」

ごぼうのクシヤミが、あんまり大きかつたので、大根は耳をおさへて　とび上りました。そして、腹を立てて、自分の部屋の寝台にもぐり込んで　寝てしまひました。ごぼうも仕方なく　自分の部屋へ行つて　眠つてしまひました。

明る日起きた時には、大根もごぼうも、昨日の事はすつかり忘れてしまつて、いまだに思ひ出さないで、ごぼうは元のまゝの茶色で、毛だらけの顔をして　平気で暮してゐます。お野菜ですから、それは致し方ありません。

青空文庫情報

底本：「日本児童文学大系　第二六巻」ほるぷ出版
　　1978（昭和53）年11月30日初刷発行
初出：「コドモノクニ」東京社
　　1938（昭和13）年2月
※底本の本文は、著者訂正稿によります。
入力：菅野朋子
校正：noriko saito
2011年7月14日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

ゴボウ君と大根君

村山籌子

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/